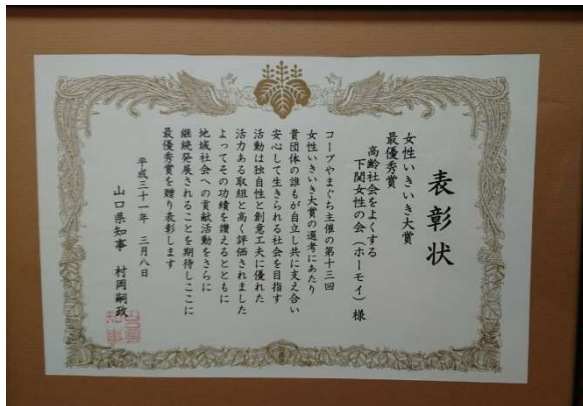


「第13回女性いきいき大賞」に再度選ばれて！



ホーモイの活動は準備会を含め、足かけ20年になるでしょうか。「第2回女性いきいき大賞」を2008年度に頂き、再度選ばれたこと。それも最優秀賞（県知事賞）を頂きました。

そしてホーモイの基本である「学習と実践を両輪として活動する」事を評価して頂いたこと。この二点がとても大きな喜びです。

20数年前、介護の負担からリウマチになり、子どもを当てにしないでこれからの人生を自立して生きて行く為にはどうあるべきか悩みました。

いろいろ学習をしている中、下関市立大学の公開講座（福祉）の内容で「高齢社会をよくする北九州女性の会」の代表富安兆子先生の活動に感動しました。下関でも活動をしたいとの思いで北九州の会に参加し勉強させて頂きました。

高齢社会をよくするとは今の社会の問題点を解決し、良くすることであり、高齢問題は高齢女性の問題であると学び、男女共同参画社会の構築が「だれもが生きやすい社会になる事だ」と学びました。それから毎年ヌエック（国立女性教育会館）の「男女共同参画推進フォーラム」に参加し学習する中で今の問題点を見つけ、それを解決するための学習を「市民福祉講座」で開催しました。その学習の中で介護保険制度の1割負担が持続可能ではなくなる事を学び「介護予防のためのサロン」を2003年11月から始め、今に至り17年続いているし効果も出ているのです。また、子ども食堂も「女性の貧困問題」のセーフティネットの1つだと学習しました。シングルマザーの5割以上が貧困です。学校給食しか食べられない子どもがいる事を知り、夏休みの事を思うと居ても立ってもおれず、2016年「生野きらきら子ども食堂」を地域住民の協力を得て開設しました。子どもは社会全体で育てることが望ましい事も学びました。2018年の男女共同参画フォーラムにて「生野きらきら子ども食堂の実践と課題」と題してワークショップを開きました。おかげで良い評価を受けました。今まで私が学ばせて頂いた事の集大成だと自負しております。

このような活動の評価して頂きありがとうございました。